

月	1	大安
火	2	赤口
水	3	先勝
木	4	友引
金	5	先負
土	6	仏滅
日	7	大安 休日営業16時まで
月	8	赤口・体育の日 定休日
火	9	先負
水	10	仏滅
木	11	大安 ブチ茶会
金	12	赤口 ブチ茶会
土	13	先勝 ブチ茶会
日	14	友引 定休日
月	15	先負
火	16	仏滅
水	17	大安
木	18	赤口
金	19	先勝
土	20	友引
日	21	先負 定休日
月	22	仏滅
火	23	大安・霜降
水	24	赤口
木	25	先勝
金	26	友引
土	27	先負
日	28	仏滅 定休日
月	29	大安
火	30	赤口
水	31	先勝

神無月の  
ブチ茶会のご案内

10/  
11 木 12 金 13 土

薩摩焼  
古垣嘉一  
作陶展

於 1階小間席  
9:00am → 4:00pm



茶入 荘  
六代左入 黒茶碗  
特徴ある挟み跡を  
ご覧ください

月刊  
いつもの  
ギャラリー  
さん

(題字・三輪休和)  
108号  
2018年10月発行

ブチ茶会ではこの茶入を  
使用させていただきます

瀬戸茶入 堀田宗達箱  
銘 星林



遠州流家元主鑑堀田宗達は名古屋の茶室  
相応寺(名古屋千種区)には、宗達の茶室  
があり、その縁で建立された「茶塚」では  
日本で初めての茶先供養も行われたと伝わ  
っている。この行事は戦後長く途絶えていたが、近年復活し  
引き継がれている。銘の星林は「万葉集巻七雑歌冒頭  
天の海に 雲の波立ち 月の船 星の林に 漕ぎ隠る見ゆ  
柿本人麻呂の万葉歌にちなむ。月の船 星の林に 漕ぎ隠る見ゆ  
飛鳥時代の人々の心情に接することができる和歌です。」

The お道具拝見 毎月ひとつのお道具に注目します 「掛分・片身替」について

陶磁器において、掛分はその器体の半分が釉または焼成の具合で異な  
った調子に出来ているものをいう。釉を片面のみにかけて片身替とし、また発  
色の異なる釉を片側ずつ掛け分け、意識的につくったものもある。  
代表的なものに7月号掲載の千種伊羅保茶碗があり、他に唐津・高取・薩摩  
焼などに優品が多い。また近年評価の高まったものに鴻池家伝来 写真①  
「ノンカウ 赤茶碗 銘 虹」覚々・如心斎箱がある。  
高台から腰回りにかけては無造作なヘラ使いで削  
り込まれ、高台中央に「楽」の印をくっきりと捺した、  
在印土見せの茶碗で、土はねっとりした赤土が用いられている。土見せにした  
高台から腰回りを半月に残して、内外に三色の釉薬をかけているが、作為豊かな  
ノンカウの茶碗の中でも他に例を見ない装飾性の強いものである。施釉は、最初  
高台回りを残してほぼ全面に黄土をかけ上に透明釉と鉛釉を掛け分けたもので  
赤・鉛・淡黄・白色に判然と分かれている。大正頃までは世間ほとんど知られてい  
なかったが、「大正名器鑑」で紹介され、評価が高まった。

漆工芸では、体角線に稲妻形の区画線をもって左右を分け、蒔絵  
意匠を異にしたものをいう。高台寺蒔絵に見られる意匠。写真②  
染織工芸では、衣服などの片身を異なった裂地で仕立てて片身替  
とし、のちには模様を左右変えて織ったり染たりした。織豊時代から江戸時代前期に  
かけてこの方法が盛んに行われた。古く直垂わたれにもこの仕立方がある。近世では  
茶入や茶碗の仕覆にもこの片身替仕立てによるものがある。  
-茶道大辞典より-

ブチ茶会同時開催 薩摩焼作陶展 嘉一窯 古垣彰 ふるがきあきひろ

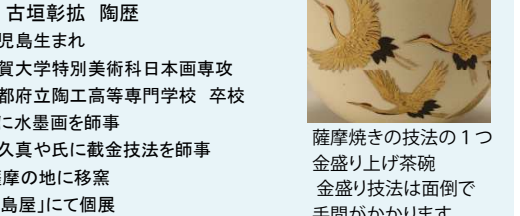
鹿児島島の空と海が溶け込んだ伝統ある薩摩焼の新しい表現



軸裏(ゆり)金銀彩技法とは、厚さ0.007mmの銀箔を独自の  
技法により一枚一枚手作業で丁寧に切り抜く。20世紀に入って  
創められた日本独自の技術です。切り抜いた金銀箔を生地に  
焼き付け、その上に透明釉薬を施し、再度焼成します。釉薬を  
掛けることにより、銀箔の黒変を抑えることが最大の特徴です。



古垣彰 陶歴  
1974年 鹿児島生まれ  
1993年 佐賀大学特別美術科日本画専攻  
2002年 京都府立陶工高等専門学校 卒校  
三好葵氏に水墨画を師事  
2006年 松久真や氏に戴金技法を師事  
2011年 薩摩の地に移窯  
日本橋「高島屋」にて個展  
名古屋栄「三越」にてグループ展 他  
国民文化祭にて、華道家・假屋崎省吾氏とコラボレーション  
香港「SOGO」にて個展 華道家 假屋崎省吾氏と共演  
2018年 パリ国際見本市「メゾン オブジェ」展示  
シンガポール「NOOK ASIA 2018」出展



薩摩焼きの技法の1つ  
金盛り上げ茶碗  
金盛り技法は面倒で  
手間がかかります

今月の推奨商品のご紹介 華乃会お買得価格でのご紹介

¥41,100 → ¥28,700	¥55,600 → ¥38,900	¥25,900 → ¥18,000	¥24,300 → ¥17,000	¥13,300 → ¥9,300



秋明菊 シュウメイギク  
古代より中国から渡来し各地に野生化  
している。漢名は「秋牡丹」。  
菊と名前については、菊の仲間  
ではなくアネモネの仲間。秋に菊に似た  
花を咲かせるところからこの名前がある  
八重で濃いピンクの種は平安時代から  
京都の貴船山中に多く見られ、キブネ  
ギクの名もある

ギャラリー森田ホームページ  
http://www.gallery-morita.co.jp/  
gallery morita スタッフぶろぐ  
http://ameblo.jp/gallerymorita/  
https://www.instagram.com/gallery.morita/

Instagram  
始めました

9/23(日)は斎宮の観月会でした。  
夜にはろうそく約3,000本の幻想的な  
灯りに照らし出される中、斎王による  
観月の儀、雅楽演奏、斎王会による野  
点…今年は気球もあり、並んで浮かぶ  
月を見ながらお抹茶いただきホッと  
た一時を過ごさせていただきました。